

12年度第2四半期(累計) 決算説明資料

2012年11月13日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
 - 1-1) セグメント情報
 - 1-2) 営業利益の変動要因
 - 1-3) P/Lの概要
 - 1-4) B/Sの概要
 - 1-5) キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想
 - 2-1) サマリ
 - 2-2) 関連情報
 - 2-3) フリー・キャッシュ・フローの計画

※以下記載の前年同期との比較はすべて平成24年9月14日付訂正後の四半期財務諸表等に基づくものです

セグメント情報 サマリ

■第2四半期累計の業績は、売上高が情報通信セグメントを主体に増収。
営業利益は、円高影響などにより減益

【対前年同期比較】

- 売上高は、73億円の増収(為替影響▲29億円)
 - ・情報通信セグメントは、中国向けATMの増加などにより増収
- 営業損益は、11億円の減益(為替影響▲12億円)
 - ・為替影響を除けばほぼ前年並み

【対前回公表比較】

- ・プリンタセグメントがスペインにおける販売減少の影響などで減収減益

(単位:億円)	12年度		前年同期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	1,162	46	1,089	44
プリンタ	538	△72	532	△62
E M S	148	5	155	5
その他	88	14	87	14
消去・本社費	—	△32	—	△31
合計	1,936	△40	1,863	△29

前回(9/14)公表	
売上高	営業利益
1,160	45
560	△35
150	5
80	10
—	△30
1,950	△5

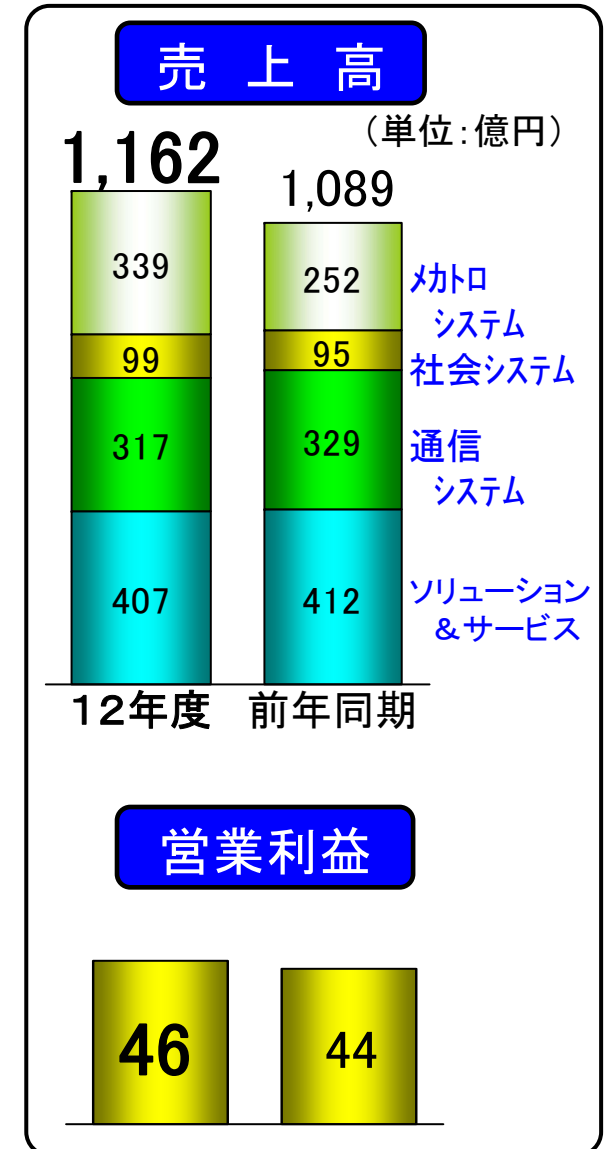
セグメント情報【情報通信】

■ 売上高:

- ▶ ソリューション&サービス:
官公庁向け案件などは増加するものの、ほぼ横ばい
- ▶ 通信システム:
光アクセス需要の一巡などにより減収
- ▶ 社会システム:
一部官公庁向けの大型リプレースが増加
- ▶ メカトロシステム:
・中国向けATMが引き続き好調
・中国子会社の決算期間変更影響により約40億円増収

■ 営業利益:

物量増による限界利益の増加などにより増益



セグメント情報【プリンタ】

■ 為替による影響

➤ 売上高29億円減収、営業利益12億円減益

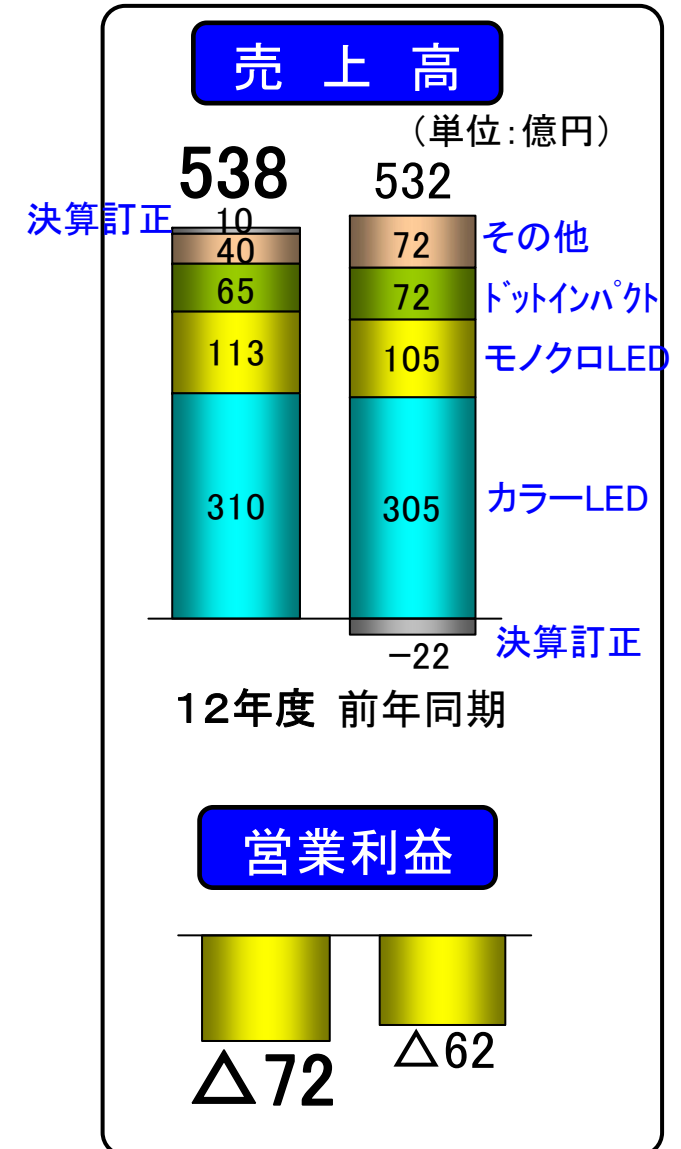
■ 売上高：為替影響を除き35億円増収

- カラーLEDプリンタおよびモノLEDプリンタ：
- ・新商品投入に合わせたプロモーションなどの積極的なチャネル支援策に加え、ビジネス向け低価格機投入による商品ラインアップ拡充などにより、販売台数は順調に増加
 - ・主力のA4カラーおよびモノクロ新商品は堅調

➤ その他：
スペインのプリンタ以外の機器が減少

■ 営業利益：為替影響を除きほぼ前年並み

物量増に伴う限界利益の増加や変動原価の低減効果などにより、価格下落や販管費増などを吸収



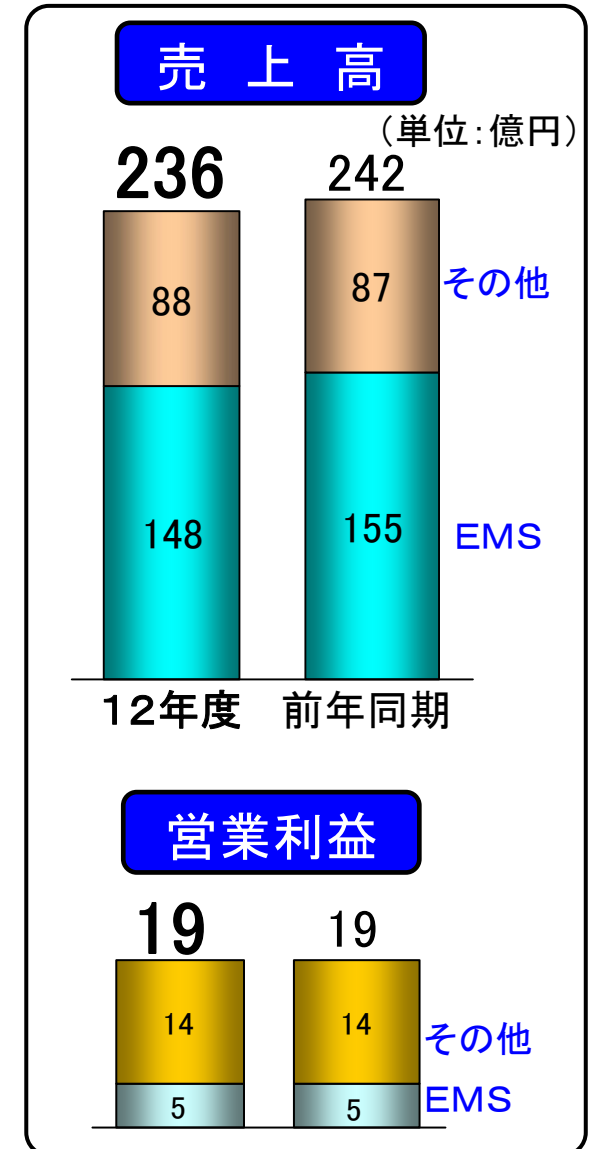
セグメント情報【EMS】・【その他】

■ 売上高

- ▶ EMS:
半導体装置関連の需要減少などにより減収
- ▶ その他:
アミューズメント市場向けの部品関連が堅調

■ 営業利益

前年と同等



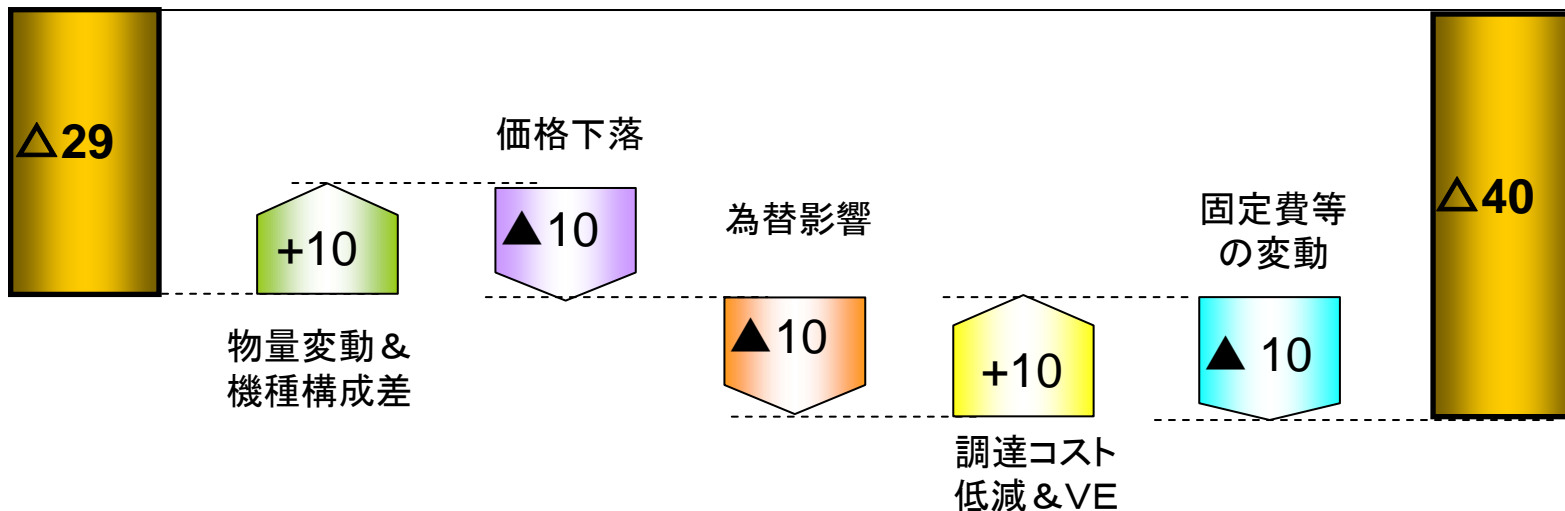
EMS: Electronics Manufacturing Service

営業利益の変動要因

- 物量増や変動原価の低減などの増益効果はあるものの、円高影響や固定費等の増加などにより、前年対比11億円減益

FY11
2Q累計
実績

FY12 (億円)
2Q累計
実績



P/Lの概要

(単位:億円)	12年度	前年同期
売上高	1,936	1,863
売上原価	1,451	1,401
販管費	526	490
営業利益	△40	△29
営業外収支	△21	△23
経常利益	△61	△52
特別損益	△4	△18
税引前利益	△65	△70
当期純利益	△67	△97

- 販管費は、スペイン貸倒引当金増とプリンタ輸送費増などにより増加
- 営業外収支は、支払い利息の減少などにより良化
- 特別損益は、投資有価証券評価損の減少などにより良化
 - ・投資有価証券評価損(△12→△3)

【参考:平均為替レート】

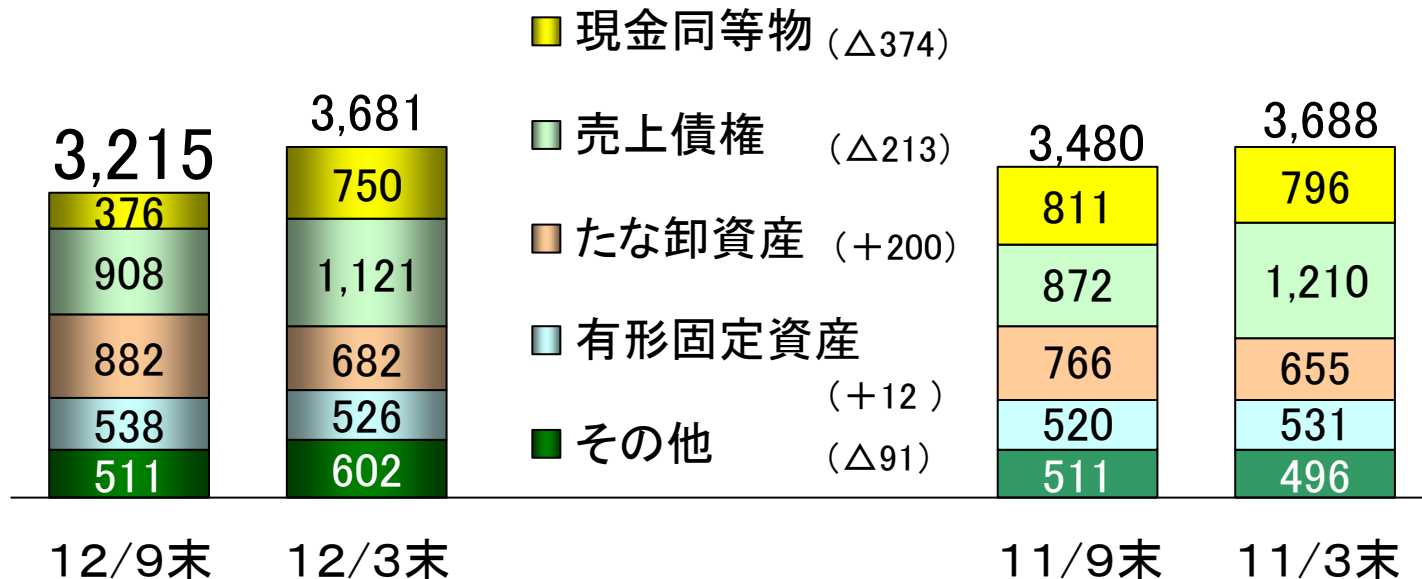
	上期実績	前年同期
USD	79.4	79.8
EUR	100.6	113.8

B/Sの概要【資産の部】

- 売上債権および現金同等物の減少などにより、総資産は466億円減少
- 現金同等物は借入金の返済やスペインのファクタリング解消などにより、374億円減少
- 例年通り、前年度第4四半期の売上高が大きいことから
売上債権は3月末に増加し、当四半期に現金等で回収されるため9月末に減少
たな卸は3月末に減少し、当四半期には生産平準化等により9月末に増加

(単位:億円)

()内は増減

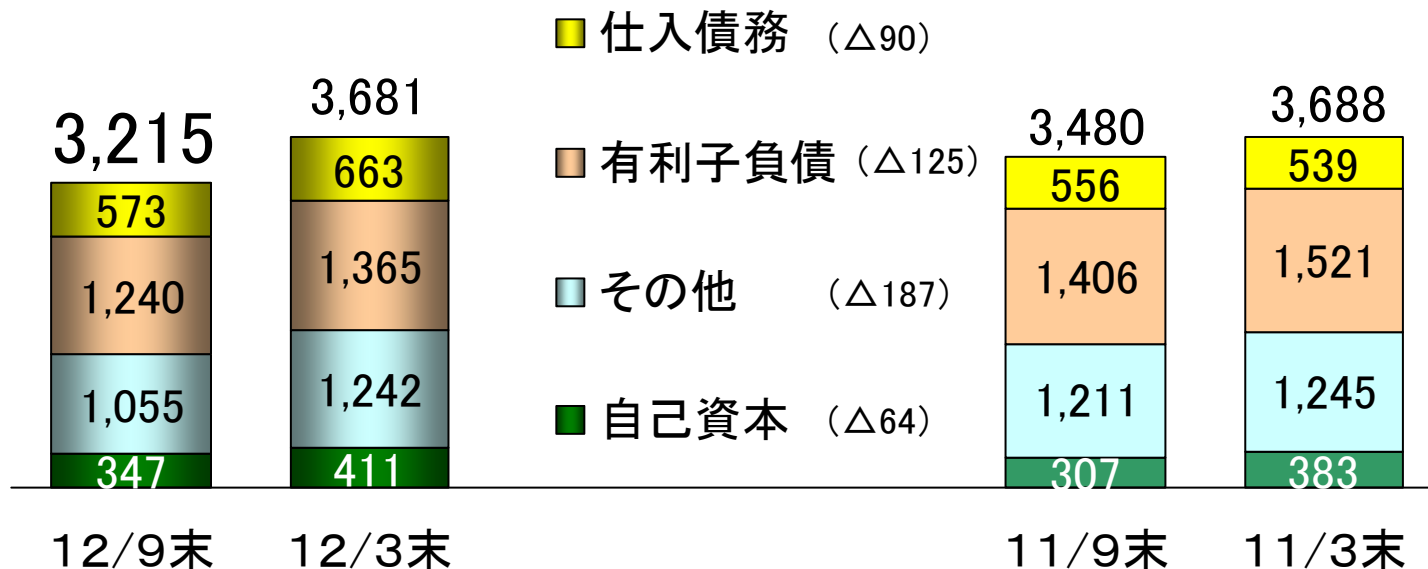


B/Sの概要【負債・純資産の部】

- 自己資本は、当期純損失や優先株式の配当などにより64億円減少。
自己資本比率は10.8%
- NET有利子負債は、249億円増加し864億円。NET D/Eレシオは2.5倍

(単位:億円)

()内は増減



キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローは、当期純損失、運転資金の増加およびスペインのファクタリング解消などにより163億円の支出

(単位:億円)	12年度	前年同期
I 営業キャッシュフロー	△163	172
税金等調整前当期純利益	△65	△70
減価償却費	59	62
運転資金の増減	△70	190
その他	△87	△10
II 投資キャッシュフロー	△93	△49
設備投資支払額	△53	△39
その他投資活動	△40	△10
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△256	123
III 財務キャッシュフロー	△137	△112
キャッシュフロー計(I + II + III)	△393	11

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
 - 1-1) セグメント情報
 - 1-2) 営業利益の変動要因
 - 1-3) P/Lの概要
 - 1-4) B/Sの概要
 - 1-5) キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想
 - 2-1) サマリ
 - 2-2) 関連情報
 - 2-3) フリー・キャッシュ・フローの計画

通期業績予想サマリ

プリンタ事業のスペインにおける
上期業況を踏まえ、売上高・利益を見直す。

(参考)	下期為替前提
USD	76.0
EUR	100.0

(単位:億円)	通期業績予想			前年同期
	今回	前回公表	修正額	
売上高	4,450	4,470	▲20	4,235
情報通信	2,800	2,800	—	2,672
プリンタ	1,130	1,150	▲20	1,074
EMS	350	350	—	313
その他	170	170	—	176
営業利益	140	185	▲45	120
情報通信	210	210	—	187
プリンタ	△50	△5	▲45	△43
EMS	15	15	—	15
その他	30	30	—	25
消去・本社費	△65	△65	—	△64
経常利益	110	155	▲45	91
当期純利益	65	110	▲45	16

関連情報

<p>情報 通信 システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中国向けATMは引き続き堅調に拡大 ➤ リサイクルATMのグローバル市場への展開加速 ➤ サービス事業のアライアンス加速、 クラウドサービス (EXaaS) のラインナップ拡充 ➤ 防災行政無線、消防無線のデジタル化等の 社会インフラシステムを引き続き順調に獲得
<p>プリンタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ OKIデータグループの経営基盤強化施策を推進 ➤ スペイン以外の地域では、好調なドイツ、北米、日本などを 中心に継続してMIFを拡大 ➤ 商品ラインアップ強化 (バーティカル市場向け、コピー市場向け戦略商品など)
<p>EMS その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療やエコ分野などの新領域を引き続き開拓 ➤ OKI田中サーキットは計画通り事業を開始 ➤ アミューズメント市場向け部品関連は堅調

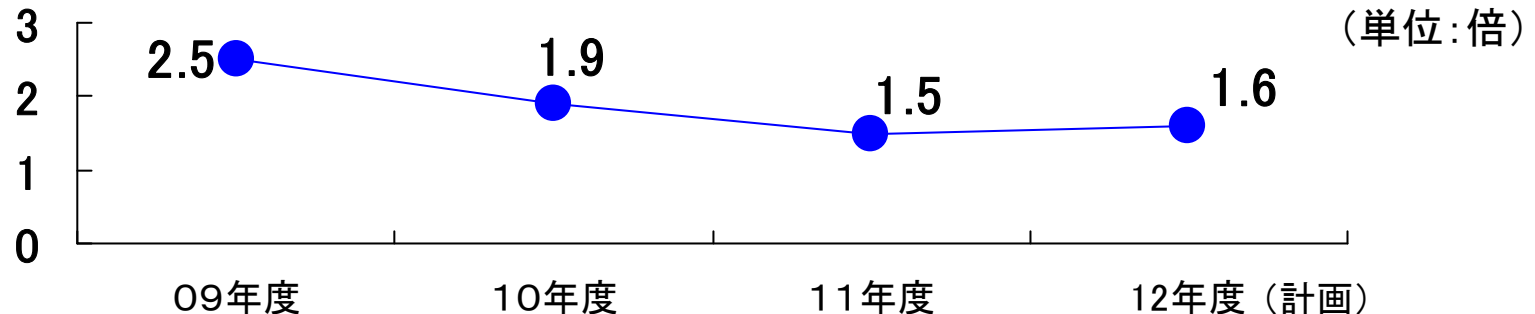
MIF: Machines In Field

フリー・キャッシュ・フローの計画

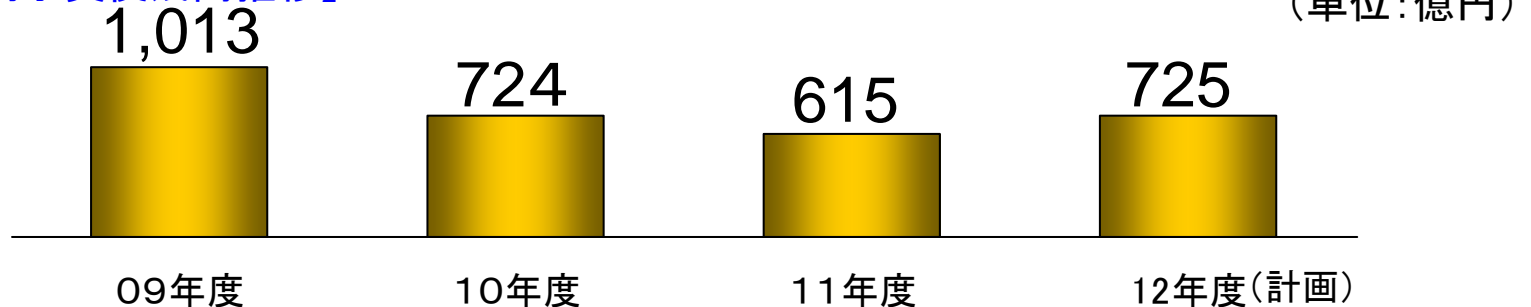
- 営業CFにはスペインのファクタリング等の解消への手元資金の充当を含む(約△100億)

(単位:億円)	12年度 計画	11年度 実績
I 営業キャッシュ・フロー	100	238
II 投資キャッシュ・フロー	△190	△94
フリー・キャッシュ・フロー(I+II)	△90	144

【NET D/Eレシオ推移】



【NET有利子負債残高推移】





Open up your dreams